

発災冠水時

冠水90cm

冠水60cm

冠水30cm

冠水0cm

内管：可動フロート

商品

(動作時)

- 冠水初め
- 冠水高さ 30cm
- 冠水高さ 60cm
- 冠水高さ 90cm

水高棒

水高棒設置イメージ

外管：固定パイプ

水高棒

水面

平常時

# 水高棒

可動フロートが水に対する浮力のみで上下動作  
道路の冠水高さが簡単に確認できる表示器

有限会社 扇光 0596-37-2535  
三重県伊勢市西豊浜町1433

## 製品仕様等

- 外管（外側パイプ） 材質 表面：高耐候性特殊樹脂  
内面：硬質塩化ビニル樹脂  
表面反射テープ（ポリエステル系フィルム）  
基本長さ：2.7 m（測点と設置場所により長さ調整）  
パイプ外径：60 mm  
パイプ厚み：1 mm
- 内管（内側パイプ） 材質 表面：耐候性向上特殊樹脂  
内面：硬質塩化ビニル樹脂  
内管パイプ内に浮力動力として「ポリエチレン樹脂充填」  
基本長さ：2.7 m（測点と設置場所により長さ調整）  
パイプ外径：45 mm  
パイプ厚み：1 mm
- 設置方法 ① 現状道路ガードレール支柱及び歩道手摺支柱にインシュロックタイ（高耐候製品）等で緊結固定取付。  
設置場所（測点）に応じて製品長さを切断。  
② ガードレール等の施設が無い場合はコンクリートブロックを埋設し自立形式で設置。  
設置場所（測点）に応じて製品長さを切断。
- 商品の設置による利便性等
  - ①冠水状態（冠水深さ）をインフラを使用せずに「自然の力：浮力」のみで動作する減災目的商品。
  - ②インフラの整備されていない、農村や山間部でも設置可能。
  - ③安価な製品により設置費用及び管理費用の負担が少ない。
  - ④シンプルなシステムにより維持管理が容易。
  - ⑤夜間冠水状態確認も反射テープにより冠水状態（冠水深さ）確認可。
  - ⑥冠水状態確認者自らの避難行動の誘導となる。
  - ⑦冠水状態確認者からの災害情報サイトを利用して、画像データを転送する事で情報公開でき公の減災に役立つ。
  - ⑧行政担当者様の危機管理状態把握の手助けとなる。
- 知的財産権について
  - ①特許審査申請中
  - ②「水高棒」商標登録済
- 商品の品質向上を目的として予告無く仕様を変更する場合があります。
- 冠水の高さは目安であり、正確な冠水高さを表すものではありません。
- 測定目的の場所に動作不可の場合を考慮して最低3本以上を設置し定期点検を推奨とします。  
(水高棒の動作不可等による事故等の保証はいたしません)